



第23回おおたき国際 スキーマラソン



日頃の成果を発揮する参加者

参加者は温かいきのこ汁を美味しく飲んでいました



2月10日、大滝総合運動公園周辺を舞台に「第23回おおたき国際スキーマラソン」が開催されました。

天候に恵まれた今回は海外からの参加も含む約700名が参加し、上級者を対象にしたスキーマラソン、初心者や家族での参加を対象にした歩くスキーの各種目別に分かれ元気にスタートしました。

参加者は大滝の大自然を満喫しながらもスキーを滑らせ、それぞれの力を発揮。ゴール後は大会実行委員が用意した大滝区名物のきのこ汁で体を温めていました。

「第59回文化財防火デー」防火訓練

毎年1月26日の「文化財防火デー」にあわせて、国の重要文化財に指定されている旧三戸部家住宅や迎賓館などで防災訓練が行われました。

各建物の中に設置された火災報知器や消火器などを点検し、いざという時の行動について、消防職員が説明しました。主催した伊達消防署予防課の武川克由さんは「火のもとに気を付けるのはもちろん、身の回りの防火器具の点検も忘れないでください」と話してくれました。



旧三戸部家で放水銃の確認を行いました

入賞者に賞状と記念品が贈られました



伊達市小中学生読書感想文・感想画 入賞者表彰式

2月16日、市立図書館で「平成24年度伊達市小中学生読書感想文・感想画入賞者表彰式」が行われました。今年で41回目を迎える今回は、市内の小学生、中学生から感想文124点、感想画115点の応募があり、感想文・感想画それぞれ21名の入賞者に、賞状と記念品が贈られました。

表彰式後、入賞者の代表3名の児童が感想文を発表し、会場に集まった大勢の人から拍手を送られていました。

「伊達市防災講演会」

2月5日、防災センターで防災講演会が行われ、市内外から約60名が参加しました。

今回は「地震・津波・噴火・洪水・地すべり・崖崩れ～避難を考える～」という演題で、広報だての防災コラムでもお馴染みの宇井忠英さんが講師を務めて講演。12月に市が各家庭へ配布した『津波ハザードマップ』も参照し「発表の数値はおおむねのもので、数値を見て安心とは思わず進んで避難をしてください」と説明しました。



自然災害の避難について説明する宇井さん

帰国報告をした近野さん（右）



伊達市出身バリトン歌手 近野賢一さん市役所表敬訪問

1月30日、伊達市出身で5年半のドイツ留学を終えたバリトン歌手の近野賢一さんが、帰国の報告に市役所を訪れました。

黄金小学校、達南中学校出身の近野さんは、京都市立芸術大大学院修士課程を経てドイツの音大へ留学。帰国後は群馬県前橋市を中心に音楽活動を行っています。ぜひ凱旋公演を行いたいと話していた近野さんは「留学中に学んだことで地元を盛り上げていきたいです」と意欲を示してくれました。



第四戦伊達雪まつり 一冬の陣一

2月17日、「第四戦伊達雪まつり一冬の陣一」がカルチャーセンター特設会場で開催されました。

イベントが少ない冬期間で行う伊達市独自のお祭りも4年目を迎え、毎年人気のある特設すべり台は、子どもたちに大人気。今年新たに行われた「雪上綱引き」にもたくさんの参加者が集まり、滑りやすい足元での勝負に、周囲からも応援の声が飛び交いました。

また、1年間の「伊達福男」の称号を目指して「春イチバン伊達福男競争」が行われ、脚自慢の参加者が大手門前をスタート！室蘭市の社員で22歳の野村彰吾さんが見事1着になりました。



大きなすべり台は大人気！



力強く「雪上綱引き」をする参加者